

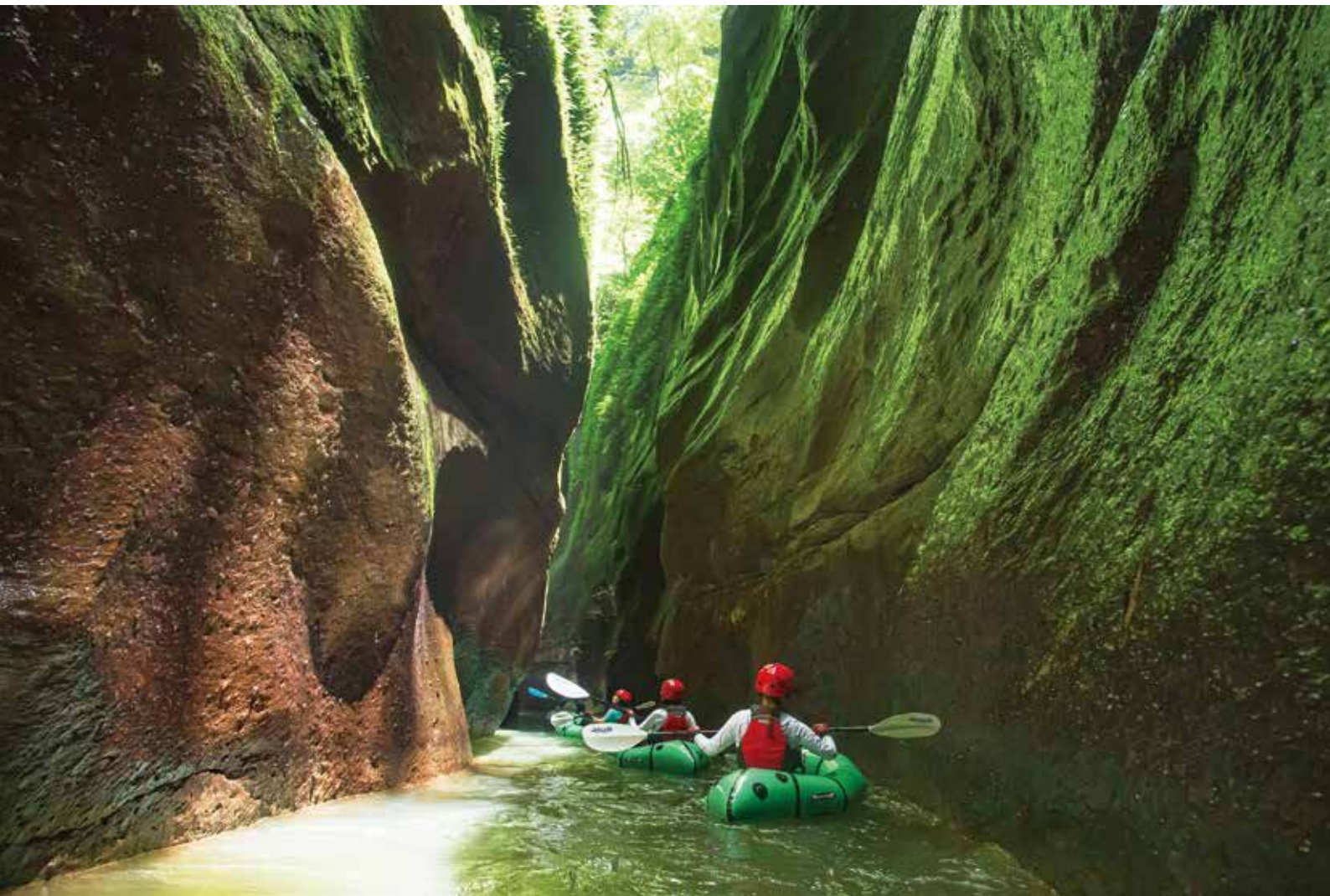


由布市 YUFU CITY COUNCIL

議会だより

No.71

2023年8月



由布川峡谷パックラフト（挾間町）

CONTENTS

- 令和5年第2回定例会 概要 1
議案質疑 1～2
常任委員会報告 3～5
- 一般質問とは 6
- 市政を問う（一般質問） 5～8
- 議会報告会 報告 9～10
- 請願・陳情結果、賛否一覧、編集後記等 裏表紙

次の由布市議会は 9月5日(火)に開会予定です(令和5年第3回定例会)

令和5年 第2回由布市議会定例会 概要

令和5年第2回定例会が6月12日に開会され6月27日までの16日間開催されました。今定例会で提案された報告8件、承認5件、議案11件、請願2件を審議しました。そのうち請願2件を不採択に、その他は原案どおり承認・可決しました。

一般会計補正予算では、3億7,194万7千円を追加し、総額を210億9,215万2千円としました。

◆新型コロナウイルス緊急対策事業の主なものとして

① 住民税非課税世帯給付金	1億3,650万円
② 農業振興(飼料価格高騰等)	2,583万2千円
③ 商工振興(プレミアム商品券)	1億908万7千円
④ 学校給食(給食用物資高騰)	2,099万6千円

◆その他の主なものとして

① 由布市に住みたい事業(移住支援金等)	1,050万円
② 旧湯布院公民館跡地整備事業	534万9千円
③ 挟間小学校プール解体工事	1,375万円
④ 偉人マンガ作成業務委託(後藤檜根氏)	300万円

請願について

受理番号4 市道認定に関する請願については不採択

(理由) 認定基準に照らし道路用地の分筆寄付等が現状困難。

受理番号2 「由布市における開発事業」に関する請願は不採択

委員会では趣旨採択と決定したが討論の結果、本会議において趣旨採択は否決。その後、請願原案についてを採決し、賛成少数で不採択と決定した。

議案質疑

由布市手話言語の普及及び障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例の制定について

Q 市の施策で、どのような事業を考えているのか。手話ができる職員はいるのか。

A 市ホームページで特設ページを開設、窓口にポスターやチラシを掲載し周知する。現在、毎週木曜日午後手話通訳者を福祉窓口に配置している。手話通訳者の派遣事業、音声言語を文字化するアプリ(U Dトーク)、コミュニケーションボードの導入、遠隔手話通訳のサービス導入、手話講習会の継続etc。会計年度任用職員1名が手話対応。

由布市中小企業者店舗等整備改善融資金利子補給条例の一部改正について

Q 改正に至る理由を具体的に問う。

A 合併前から同じ内容で推移してきたが、広域的な分で問題があった。具体的には、居住2年要件、商工会員になるという所を撤廃。移住定住・創業支援等の施策に力を入れているので、幅広く中小企業者の申請ができる形にした。

令和5年度由布市一般会計補正予算（第3号）

Q コミュニティ施設整備促進事業（湯布院）の委託料と工事請負費について。

A 委託料は、ゆふいん道の駅の物産棟の建て替えて、デジタル田園都市国家構想交付金申請に関するコンサルへの委託料。工事請負費は、乙丸温泉館外の修復付帯工事で昨年度繰越になっている改修。

Q 由布市に住みたい事業の1,050万円の補助金。どの位増える予定を見込んでいるのか。

A 4世帯分350万円、県外移住者一括補助金は24世帯分500万円、由布市移住促進事業補助金10世帯200万円増の見込みで概ね45世帯分。過去2年間で湯布院が最も多い状況。過疎・辺地指定地域の加算措置で庄内町の伸びも4件から9件となり効果があったと理解している。

Q 農業活性化・スタートアップ圃場事業について、新規就農者は何名で、現在何名確定か。また、補正となった理由は。

A 同時に入植できるのはイチゴ入植者2組、白ネギ入植者1組で、すでに各1組ずつ入植している。欠員1組の方とは協議中。3年を上限に圃場を貸すが、その後も農業者として由布市内に定住していただく約束です。補正理由は、倉庫の水道や仮設トイレなどの設備不足、礫(れき)が多く排水不良など、不測の事態が生じたため。

Q プレミアム商品券について、低所得者の方は券を買おうにもお金が無いとの感じがあり、この券を3~5万円分でも支援する考えはないか。

A 今回の補正で、福祉関係で住民税非課税世帯や家計急変世帯の予算を、低所得の子育て世帯に対しては給付金予算を計上。商工費からではなく、それぞれの部署で措置すべきものと思う。

Q 小学校施設整備事業（挟間小）について、工期と授業の関連、児童の安全、近隣の安全について配慮しているか。

A 工期は4か月で、10月の運動会終了後に着手予定。令和6年度以降の水泳授業はB&Gプールを活用予定とし、学校と協議していく。業者が決定次第、安全対策、騒音の少ない機械の活用、防音フェンス設置や休みの土日に大きな音の出る工事をしてもらう等、協議する。

Q 新型コロナウイルス緊急対策事業（学校教育）の報酬353万2千円減額について

①新年度開始3か月で減額について。

A スクールサポートスタッフ2名と学習指導員1名の減によるもの。

②市全体の対応は。

A 県の減額決定が3月末で、新たに確保はできなかった。働き方改革、大事なことの一つが人材確保であると重々承知している。ご意見を踏まえ、来年度の施策・予算について参考とさせていただきたい。

Q 文化振興事業について、偉人マンガ作成事業の内容は。

A 教科書では学べない郷土ゆかりの偉人マンガを製作し、ふるさとへの興味関心向上を目的に、公益財団法人B&G財団の補助金を活用し行う。東洋のアンデルセンと言われ、多くの童話作家の育成に尽力した後藤梢根(ならね)氏の人生を描くもので、2,000部を製本予定。

工事請負契約の締結について

Q 具体的な工事内容と、今後の予定について伺う。

A 今年度は橋梁上部工の鋼桁の工場製作と護岸工事の一部を施工する。令和6年度は上部工仮設工事、鋼桁の設置工事、護岸の残りを施工。令和7年度は橋梁取付け部の道路改良工事。令和8年度は旧橋の撤去工事を行い、事業完了となる。

Q 一般競争入札では安く入札するのが基本。3者とも同一金額では入札の意味がなくなってしまうのでは。

A 入札公示を行うにあたり最低制限価格を設定する。その計算方式はホームページにもあり、工事の積算を行い由布市最低制限価格運用要綱によってその額を計算できる。今回、3者とも同じ金額になったのは、3者とも最低制限価格による応札であり、くじ引きとなった次第。

総務常任委員会

承認 専決処分を求めることについて

第2号 令和5年度由布市一般会計補正予算(第1号)

一般会計歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,051万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を206億7,463万3千円とするもの。

第4号 由布市税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、条例の一部が改正されたことによるもの。主な改正点は、森林環境税の導入に伴う徴収方法等の規定の整備や、新たに定義された特定小型原動機付自転車の車両区分の創設など。

第5号 由布市税特別措置条例の一部を改正する条例

地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第26条の地方公共団体等の定める省令の一部を改正する省令の施行に伴い、条例の一部を改正するもの。主な改正点は、総務省令で定める対象施設に係る固定資産税の課税免除の適用期限を令和7年3月31日まで2年延長すること等。

全て、全員一致で承認

由布市火災予防条例の一部改正について

対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部を改正する省令の施行に伴い、条例の一部を改正するもの。改正点としては、急速充電設備の高出力化へのニーズが高まっていることを受け、出力の上限を撤廃するもの。

令和5年度由布市一般会計補正予算(第3号)

本補正予算は、一般会計歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億7,194万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を210億9,215万2千円とするもの。

歳出の主なものとして、由布市に住みたい事業の1,050万円は、移住希望者の増が見込まれるため。

個人番号カード交付事業の委託料325万6千円の増額は、

マイナポイントの設定期間が9月末まで延長されたことによるもの。

由布川峡谷遊歩道の路肩復旧工事に232万円。

コミュニティ施設整備促進事業の委託料306万9千円は、道の駅ゆふいんに係るデジタル田園都市国家構想交付金申請資料作成業務委託料。

旧湯布院公民館跡地整備事業の委託料319万円は、公民館跡地設計委託料の追加変更分、工事請負費215万9千円は市営駐輪場移設に係る屋根設置工事でラックホール利用者の駐車場整備が主なもの。

財産の取得について

高規格救急車購入に伴う要件設定型一般競争入札を令和5年5月30日に執行。「株式会社消防防災大分本店」が消費税を含む3,271万4千円で落札。この仮契約を本契約とするため、由布市有財産条例第2条の規定により議会の議決を求めるもの。

工事請負契約の締結について

八山線八山橋上部工桁製作工事に伴う要件設定型一般競争入札を令和5年5月30日に執行。「株式会社名村造船所佐賀営業所」が消費税を含む1億4,362万2,028円で落札。この仮契約を本契約とするため、由布市議会の議決に付すべき契約及び特に重要な公の施設の廃止に関する条例の規定により議会の議決を求めるもの。



八山橋(湯布院町)

全て、全員一致で原案可決

教育民生常任委員会

承認 専決処分を求めることについて

第3号 令和5年度由布市一般会計補正予算(第2号)

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の給付4,557万2千円を追加するもの。

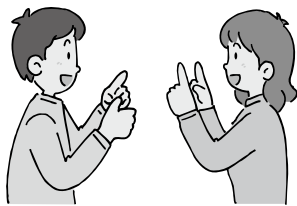
第6号 由布市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

令和5年政令第132号による地方税法施行令の改正に伴い、後期高齢者支援員等課税額に係る課税限度額を引き上げ、被保険者均等割及び世帯別平等割額を軽減する所得判定基準の5割軽減の基準を引き上げるもの。

全て、全員一致で承認

由布市手話言語の普及及び障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例の制定について

手話言語の普及及び障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用を図り、障がいの有無に関わらず、全ての市民がお互いの人格と個性を尊重し、安心して笑顔で暮らすことが出来る地域共生社会を実現することを目的としているもの。



由布市特定教育・保育施設及び特定地域保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

由布市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

ともに、こども家庭庁設置法の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令の施行に伴い、保育内容等について厚生労働大臣が定める指針から内閣総理大臣が定める指針に改められたことによるもの。

由布市民運動場条例の一部改正について

地元地権者との賃貸借契約期間が終了したことに伴い、由布市運動場条例別表第1から「由布市湯平菊畑グラウンド」を削除するもの。



湯平菊畑グラウンド(湯布院町)

令和5年度由布市一般会計補正予算(第3号)

歳出として、新型コロナウイルス緊急対策事業(社会福祉)として住民税非課税世帯給付金及び家計急変世帯給付金に、一律3万円を給付する等、1億9,695万円の増額。

地域子育て支援づくり事業として由布川地域コミュニティセンターに「こどもルームはさま」の出張広場を拡充するための委託料263万5千円の増額。

新型コロナウイルス緊急対策事業(学校教育)として県の補助金が3名分減額になったこと等により353万2千円の減額。

小学校施設整備事業として挾間小学校増築に伴うプールの解体工事請負費1,375万円の増額。

文化振興事業としてB&G財団の補助金を財源とし「ふるさとゆかりの偉人マンガ」として、戦前・戦後を通じて多くの童話作家の育成に尽力した後藤檜根(ならね)さんのマンガ作成委託料300万円の増額。

体育施設費として湯布院スポーツセンターの浴室ボイラー修繕費692万3千円の増額。

全て、全員一致で原案可決

産業建設常任委員会

由布市中小企業者店舗等整備改善融資金利子補給条例の一部改正について

当該条例における利子補給交付対象者の要件を改正するもの。具体的には、交付対象者の要件としていた2年在住要件と由布市商工会員であることの要件を削除するもの。

令和5年度由布市一般会計補正予算(第3号)

歳出の主なものとして、農業活性化・スタートアップ圃場設置事業費補助金683万2千円。

飼料価格高騰緊急対策事業費補助金1,900万円。

商工振興として、物価高騰の影響を受ける市民生活の支援と地域経済の活性化を目的とし1億908万7千円、内容としてプレミアム率30%の商品券(紙および電子)を計3万セット発行が主なもの。

委員会として、プレミアム商品券については、事業者および利用者相互の利便性向上に努めるよう意見を付した。

令和5年度由布市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算にそれぞれ256万5千円を追加し、総額を1億2,948万3千円とするもの。インボイス制度対応納付書の作成費、および原水ポンプと電磁流量計の修繕費。

令和5年度由布市水道事業会計補正予算(第1号)

	補正額	総額
収益的収入	863万0千円	8億8,624万0千円
収益的支出	△70万3千円	8億5,027万6千円
資本的収入	3,214万5千円	5億5,834万7千円
資本的支出	3,229万7千円	8億9,786万7千円

主なものとして、収益的収入の交付金900万円は、水道事業運営に係る電気代高騰分の補填を受けるもの。

資本的支出は、県道別府挾間線道路改良工事に伴う配水本管布設工事費。

全て、全員一致で原案可決

一般質問

市政を問う

- 加藤 幸雄 議員 湯布院公民館跡地について 他
- 坂本 光広 議員 不法投棄のゴミ処理について 他
- 田中 真理子 議員 挾間町における進む開発と安全・安心な暮らしについて 他
- 佐藤 孝昭 議員 物価高騰による生活者支援対策や農林業者支援対策について 他
- 加藤 裕三 議員 旧湯布院公民館跡地利用計画について 他
- 平松 恵美男 議員 由布市の公園について 他
- 淵野 けさ子 議員 由布川地域住民・児童への公共交通体制について 他
- 佐藤 郁夫 議員 農業・農村地域を持続可能にする取組みについて
- 首藤 善友 議員 県文化財「オダニの車橋」修復について 他
- 高田 龍也 議員 湯布院庁舎の浸水について 他
- 太田 洋一郎 議員 消防団の支援について 他

一般質問とは？

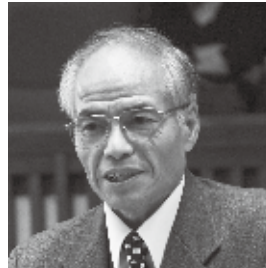


各議員が市に対し、市の仕事に関する様々な質問を投げかけ、行政に対する疑問点を質したり、施策の提案などをするものです。由布市議会では毎回、10名以上の議員が多種多様な質問を投げかけています。

一般質問の基本的なルール

- 質問内容は、市の行財政に関すること全般
- 定例会開会の約1週間前までに質問事項を議長に提出する(事前通告)
- 質問の順番は、事前通告書を提出した順番となる
- 制限時間は、質問・答弁を含めて1人60分間
- 通告した質問は一括質問・一括回答、その後の再質問は一問一答

本ページ以降に、今定例会で各議員が行った質問・答弁を、議員自らまとめた内容を掲載しています。また、当日の傍聴もできますし、後日のインターネット映像配信も行っておりますので、是非ご覧になってみてください！



加藤 幸雄 議員

「湯布院公民館跡地について」他

- Q 湯布院公民館跡地について。市民請願の駐車場等についてのプロポーザルはいつ行われますか。
- A 湯布院公民館跡地の駐車場等の請願については、市営野田駐車場に加え、公用車置き場の一部を一般駐車場に開放します。
- Q 答申があったということは、諮問書は作っていますか。
- A 検討委員会と、プロポーザルの2つあり、市長の諮問により市の基本的な考え方を示して答申書を頂戴しています。
- Q バスの出入りが一か所になると、車の通りが多くなり、危険が増す。安全と言えますか。
- A より安心安全性を確保する策の調査研究を重ねています。
- Q 由布市観光について。観光客のトイレの使い方、路上での写真撮影や観光客の乗降等の対応は。
- A オーバーツーリズムが懸念されています。国や県を通じて旅行者への事前情報の周知を打診している。路上での写真撮影や橋の上での乗降等については、観光事務調整会議で協議を行っています。
- Q 観光循環バスの日にちや工程は決まったのか。
- A スタンプラリーは8月の中旬にスタート、バスは夏休みの間にはスタートをさせたい。



坂本 光広 議員

「不法投棄のゴミ処理について」他

- Q 不法投棄のゴミ処理について。
- A 不法投棄の処理についてですが、不法投棄の連絡があれば保健所と環境課が現場で確認を行い、調査を行い対策を協議します。私有地であれば、地主の方に連絡をしまして、不法投棄されやすい空き地の雑草の除去等の「捨てられない対策」を取ることを説明したり、県保健所、警察との連携を強化して不法投棄防止の看板の貸し出しをしています。また、その処理においては、県の保健所等で確認をしてから処理費の2分の1を県の補助金を使い処理することができます。市としても6名の環境監視員を3地域に配置して地元地域を監視していただき、不法投棄の場所を記録用紙に記入して提出していただく等を行っています。

※このほか、チャットGPT等の生成AIの活用について、物価高騰によるイベント等の費用の問題について質問しました。



田中 真理子 議員

「挾間町における進む開発と安全・安心な暮らしについて」他

- Q 挾間町における進む開発と安全・安心な暮らしについて。便利さ、住みやすさに核家族化が進み、挾間町においても一極集中化が見られる。追いつかない道路整備、交通渋滞、都市と農村の暮らしの違い、学校の問題と課題も多く、一方、谷・石城の人口減少、学校の存続、過疎化が心配される。バランスの取れたまちづくり、課題解決に向けて検討されているのか。
- A 挾間・由布川地区では急速に進む宅地開発により人口比重が高まっている。そのことで起きる生活環境の問題は多岐にわたっており、市道向原別府線の新設工事、生活環境の維持改善は迅速かつ的確に対応していく。本年度、都市計画マスタープランの改定と立地適正化計画を策定する予定。計画は、地域公共交通と連携し、持続可能なコンパクトシティ・プラス・ネットワークを目指す。



佐藤 孝昭 議員

「物価高騰による生活者支援対策や農林業者支援対策について」 他

Q 物価高騰による生活者支援対策や農林業者支援対策について。これまでの物価高騰対策はいつも通りの一部の方々への支援策で、物価高騰で由布市全体が困窮している今、由布市民へ行き届く由布市独自の物価高騰による生活者支援対策を考えないか。省エネ性の高い家電製品購入費補助や指定ゴミ袋無料支給、保育所に対しての給食材料高騰分の差額補助など。

A いろんな地方公共団体での例を参考に有効的な方策を打っていききたい。

Q 木材の高騰で森林の伐採は業者も増え進んでいるが、木の植林や保育は民間業者も増えず現状進んでいない。伐採後の保育に森林環境譲与税を使い由布市で更に上乗せし森林の保持に努めないか。

A 議員提案の上乗せ補助金は森林・林業の現状課題を把握し他市の活用状況も参考に様子を見ていきたい。

Q 庄内地域の人口減少と過疎対策について。庄内地域の過疎脱却の為に1期目より道の駅や地域拠点施設整備を市民団体をつくり勉強会などをして要望書も出し提案してきたが、コロナ等で休止状態。改めて総合政策課や振興局を窓口を検討を再開してもらいたい。

A 活性化の起爆剤になるような検討は引き続きしていきたいと思っている。

※他に「畜産業への肥料・飼料高騰対策は」「森林環境税」「中山間地域等直接支払制度の問題点と展望」「市民提案型連携協働事業の状況」「市民との議会報告会の報告」「議員のなり手不足」等について質問しました。



加藤 裕三 議員

「旧湯布院公民館跡地利用計画について」 他

Q 旧湯布院公民館跡地利用計画について。

A 書類選考で5事業者を選定し最終審査において、最優秀者は必須要件の児童クラブは豊かな空間並びに小学校敷地等、周囲と一体感のある空間形成が高く評価された。バスターミナルを含めた交通計画は、通学路の安全確保等提案され全体として整合性のある内容が提案され決定。「プロポーザル方式」のメリットとしては市民の多様なニーズを反映させることができ地域課題の解決に向けた手法にふさわしいことから採用した。

Q 社会教育の推進について。

A 地域リーダーの育成及び地域協育の推進については、新型コロナウイルスにより社会教育の領域では、実践の中心場である公民館や図書館の利用制限により活動中止や延期など大きな影響を受けた。今後は事業を着実に実施し、社会教育の根幹とも言える「集う」「学ぶ」「結ぶ」といった活動を進める。

Q DCIに向けた環境整備について。

A 公共トイレの対策は、市管理の公衆トイレは業者に委託し利用頻度によって1日に4回から2日に1回実施している。ゴミ対策は基本的に持ち帰りとして考えている。しかし、由布院駅舎など処理が追い付かず、ポイ捨てが散見される。各地の状況を参考に関係課で協議する。

※その他「市民との対話について」



平松 恵美男 議員

「由布市の公園について」 他

Q 由布市の公園について。市内に大規模公園の計画はあるか。

A 都市計画法に基づく宅地開発等に伴う小規模な公園以外は、現時点で市として大小問わず公園を設置する計画はない。新たな公園の設置には設置費用及び設置後の維持管理費等を念頭に設置目的等、基本理念をしっかりと確立し市民ニーズや町づくりの観点も踏まえ検討を行う必要がある。本年度は都市計画マスタープランの改定と立地適正化計画の策定を予定している。作業の中で様々な意見を参考にしながら公園整備についても計画に盛り込んで行く。

Q 市内の農業用ため池について。市内に防災重点農業用ため池はあるか。

A ため池の下流域に民家や公共施設等がある箇所は防災重点ため池として大分県より指定を受けており由布市内に31箇所が指定されている。

Q ため池の改修を要望する場合、市の窓口と対応は。

A 改修要望にあたり由布市農林整備課にて要望書を受け大分県中部振興局農林基盤部へ進達し、後日ため池関係者や大分県、由布市等にて現地立会を行い協議し、ため池の状態や周辺の状況に応じて優先度を考慮し大分県とともに推進計画を更新し事業化していくという順路となる。



湊野 けさ子 議員

「由布川地域住民・児童への公共交通体制について」 他

Q 由布川地域住民・児童への公共交通体制について伺う。地域は市外からの移住により人口増加傾向。児童数、未就学児も増加。通学距離は4.8km。県道も狭く危険な場所が多いため、通学手段の確保の考慮を要望する。(1) スクールバスは考えられないか。(2) 地域の活性化も含め大分バスを医大から赤野方面に延長出来ないか。丸田・東行の児童も乗車利用できるが。

A 学校の統廃合により遠距離通学となった児童生徒の支援として運行しており人口増加を理由としたスクールバスの運行はしていない。これまでの経緯や事業者の今後の動向など踏まえて多角的な視点で調査検討を行い事業者と協議を進めていきたいと考えている。

Q 災害弱者の個別計画について伺う。今後の計画策定の目標はあるのか。

A 6月、対象者へのアンケート調査。令和7年度末を目標に作成したいと考えている。

※その他、行政組織検討委員会について、マイナンバーカードによるコンビニ交付について、コロナ困窮者向け特別貸付について質問しました。

佐藤 郁夫 議員

「農業・農村地域を持続可能にする取組みについて」



Q 農業・農村地域を持続可能にする取組みについて。中山間地対策事業について、団体に対する事務サポート体制はできているのか。

A 市が随時相談に応じている。(株)ゆふ農業サポート事務代行サービスも行っており、事務軽減につながる体制を整えている。

Q 災害査定に伴う事業実施の遅速について。通常査定と簡易査定で復旧工事に差がついている原因は。

A 簡易査定による工事実施の遅れは、被災件数が多いことから査定期限内に査定を終えるため簡易査定を選んだ。簡易査定は、国との変更協議が必要で、工事実施まで日数を要した。被災者や関係者と個別協議し、仮設工事等の最善策を講じている。連年にわたり農地災害が続いているが、早期完了に向け取り組んでいる。

Q 上流域が氾濫し馬渡水路が被災した時、県・市どちらが復旧工事するのか。

A 水路管理者からの申請により、農業用施設復旧工事で対応する。

Q 掘次井路への崩落対策はどうなっているのか。

A 上部果樹園からの排水による水路合流部への氾濫予防ですので、農業用排水事業の採択要件に合致した補助事業を大分県と協議中です。

首藤 善友 議員

「県文化財「オダニの車橋」修復について」他



Q 県文化財「オダニの車橋」修復について。昨年来、スガメ石、茶色味を帯びた穴のある石での修復を求めてきたが、完成された石橋の欄干は全く違うものとなった。なぜか。

A 同じ石材での修復を検討したが、現在欄干部分に使用できるような大きなスガメ石は採掘できず入手は困難とのことから、県教委文化課の指導を仰ぎ、スガメ石と同質の安山岩であり日田石での修復となった。

Q メガソーラー建設に伴う道路破損について。市道下湯平中川線についての対応は。先般現場調査したところ、コンクリート割れ等目立つ。

A 3月に地元より連絡を受け現地立ち合いを行った。現在建設課と湯布院地域整備課において、事業者を交えて補修工事の実施について詳細協議中。

Q 放課後児童クラブの利用料補助について。子育て世帯の経済的負担軽減という点から、本市での利用料助成制度はどうなっているか。

A 現在の制度は、県の補助基準に準じ以下の助成をしている。

イ、生活保護世帯…上限月額4,000円

ロ、児童扶養手当、就学援助、市民税非課税…月額利用料の2分の1(補助上限2,000円)

児童クラブ利用料はクラブごとに定められ、兄弟割引等についても独自で減額しているところもある。今後も子育て世帯の支援のため、国の施策、他市町村の動向を注視していく。

※その他、学校給食の完全無償化について求めた。

高田 龍也 議員

「湯布院庁舎の浸水について」他



Q 湯布院庁舎の浸水等の原因は何か伺う。今後の対策は。

A 外部防水の未施工が最大の原因。大雨・台風等により水位の急激な上昇対策として、新たに集水管を3本布設。図書館周囲に3カ所水位点検パイプを布設した。

Q 湯布院庁舎着工前測定のボーリング調査によると地下水位が高いと分かっていたが、何故今回のやり直しで、管を布設したのか。

A 市として設計どおりにやってもらえば何も問題が無かったわけですが、瑕疵担保請求で今回全部設計どおりにした。その際に第三者機関から御助言があり『念のために排水パイプをいれた方が将来的に安心ですね』とアドバイスあり、設計では無かったがパイプを入れようと判断した。

※その他、由布市の人口ビジョンについて、旧湯布院公民館跡地利用について、一般社団法人まちづくり観光局について、以上大きく4点を質問しました。

太田 洋一郎 議員

「消防団の支援について」他



Q 消防団の支援について。消防団の課題として真っ先に上がるのが団員不足である。部によっては緊急時において必要最低限とされる人員が集まらず出動が出来ない事態が起こり、部の統合や再編成といった声も聞かれる。市民の安心安全確保は最重要であり、課題解決は急務と考える。そこで、分団や部単位で要望があれば消防団OBを中心とする後方支援隊を組織する必要があると考えるかどうか。

A 消防団OB等による支援は災害対応に際し大きな力になると捉えるが、指揮命令系統や身分保障、また具体的な支援内容等の課題も多く、現時点では公的な支援組織の立ち上げは考えていない。自主防災組織の活動の充実強化に積極的に取り組む。

Q 各分団、部の現状を聞き取り等調査して団員不足解決に向けて尽力いただきたい。

A まずは、現状把握をしっかりとやる。

※その他、湯布院公民館跡地整備計画、パートナーシップ宣誓制度の質問をしました。



議会報告会を開催しました!!

議会活性化調査特別委員会 委員長 佐藤 孝昭

今回の報告会は、実に4年ぶりの開催となりました。

私たち議会活性化調査特別委員会では、議会事務局と共に、議会報告会の開催方法や意見交換会の内容を分かりやすく伝えるためにと協議を重ねてまいりました。

市議会の仕組みや役割を私達なりにまとめ、議会や議員の置かれている状況から社会問題に至るまで知っていただき、課題解決のヒントを共有できたと思っています。また、徐々に市民の方々と直接顔合わせし、議員と触れ合うことで身近に感じていただいたと思っています。

今回の報告会でいただいた意見や要望、そして書いていただいているアンケート結果も議員各々が今後の議員活動にしっかり繋げていきたいと思えます。当日ご参加いただいた皆様、まことにありがとうございました。

主役は市民1人1人です。ともにより良い由布市を創ってまいりましょう!!

概要

開催日時

令和5年5月17日～19日 19:00～20:45

場所

17日：庄内公民館 会議室2

18日：ゆふいんラックホール 3階小ホール

19日：はさま未来館 2階大研修室

参加人数

54名(3会場延べ人数)

周知方法

議会だより、チラシ全戸配布、ゆふいんラヂオ放送、大分合同新聞掲載、各種団体へ案内(自治委員会、女性団体連絡協議会、建設業組合、PTA連合会、老人クラブ連合会、商工会、各観光協会)
各議員からの呼びかけ



会場の様子

第1部

議会報告会(約30分)議会活性化調査特別委員会メンバーより

- 議会のしくみについて
市民・議会・市長の関係や、市議会に与えられている役割などについて、スライド資料を見ながら、議会活性化調査特別委員から説明をしました。
- 議会報告
本年度(令和5年度)の当初予算の特徴的な事業について、3常任委員会の委員から説明をしました。

第2部

どうなる!? 由布市(約55分)議会活性化調査特別委員長より

- 議員のなり手不足について
由布市では、市長、市議会議員、県議会議員の3選挙とも無投票選挙となりました。このことから、議員のなり手不足における原因や課題について意見を出し合いながら会場のみなさんと一緒に語り合いました。



庄内会場



まとめ

なり手不足の要因

解消するためには

議員に
ならない

魅力の衰退
[不透明、非活発等]

住民と歩む議会、住民
福祉の向上に貢献する
議会の創造

条件の悪さ [報酬の低
さ、定数減により当選ラ
インの上昇等]

議員報酬の増額、
議会事務局の充実

議員に
なれない

地域力の減退 [立候補予備
軍 (高齢化・自営業・農業
の変化)、担ぎ手の衰退]

住民福祉の向上につな
げる議会による地域活
性化

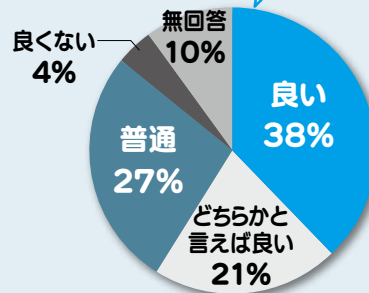
法制度の拘束
(兼職・兼業禁止等)

現場からの法改正提案

議会報告会参加者に対するアンケート結果

議会報告会はいかがでしたか？

終了後にアンケートをご記入いただきました。
主な感想やご意見の一部をご紹介します。



- 😊 由布市を勉強するために参加した。
- 😊 どんな報告がされるのかが興味があった。
- 😊 参加して良かった。議員さんが身近に感じられた。
- 😊 議員が市民と語り合う姿勢が嬉しい。
- 😊 議会のしくみが少し理解できた。
- 😊 聞くだけじゃなく、参加型の会だったので良かった。
- 😊 定期的に報告会をして、市民の方々に活動を知ってほしい。
- 😊 大分市に勤めている若い方達は議会選挙への関心が薄いと思うが、若い住民が議員や市政へ興味を持つように進めてほしい。
- 😊 自分の住んでいる地域以外でも、互いに意見を取り入れ、より住みよい由布市を市民と協力してつくってほしい。

- 😊 議会の活動内容をもう少し市民にお知らせする必要があると思う。
- 😊 市民の参加者が少なすぎる。報告会のアナウンス等はどうだったのか。

この他にも、厳しいご意見も含め、様々なご提案を頂きました。議会報告会はこれからも続けて実施をしていきますので、次回開催される際は是非、多くの皆様にご参加いただき、一緒にこれからの由布市の未来を考えていきましょう！

※いただいたアンケート集計結果や意見の詳細は由布市のホームページ上で掲載いたします。

令和5年第2回定例会で審査した請願・陳情の結果

区分	件名	代表提出者	結果
請願4 (R4受付)	市道認定に関する請願について	東石松1自治委員 岩尾 秋和	不採択
請願2	「由布市における開発事業」に関する請願	松尾 茂 他5名	不採択

賛否一覧表

(令和5年第2回定例会)

※○=賛成、●=反対 議長(長谷川建築)は採決に加わらない。(議案第52号は特別多数議決のため議長も採決に加わる)
※その他の上程された議案については、全員一致で承認・可決した。

議案名	議員名	議決結果	賛成		反対		長谷川	鷲野	田中	佐藤	淵野	佐藤	甲斐	加藤	太田	平松	加藤	田中	吉村	坂本	高田	佐藤	志賀	首藤	
			賛成	反対	建築	弘一	真理子	人己	けさ子	郁夫	裕一	幸雄	洋一郎	恵美男	裕三	幸	益則	光広	龍也	孝昭	輝和	善友			
議案54 令和5年度由布市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	15:2	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案58 工事請負契約の締結について	原案可決	16:1	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

委員会の設置

◎ 9月議会での決算特別委員会

委員長 鷲野 弘一 副委員長 田中 真理子



吊意

今回の梅雨災害およびゲリラ豪雨により亡くなられた方に謹んでお悔やみ申し上げるとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。そして、被災された地域の早期の復旧と復興をお祈りいたします。
由布市議会議員 一同

編集後記

この議会だよりが市民の皆様が届く頃には、夏真っ盛りの頃と思いますが、また今年も豪雨に見舞われました。被災された方には、心よりお見舞い申し上げます。気象庁より数十年に一度と言われる豪雨がこの10年間に各地で起きており、由布市では、令和2年7月、令和4年台風14号、今年の6月と毎年のように豪雨災害に見舞われています。中山間地の多い由布市では、土砂災害に対して命を守る行動をもう一度しっかり確認をしなければならないと感じています。また、何年か経ち忘れることのないように皆さんと共に防災を考えていきましょう。これから先災害が起こることのないように祈っています。

坂本 光広

議員は公職選挙法に基づき以下の行為は禁止されております。

- 地域の行事やスポーツ大会への寄附や差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ
- お中元やお歳暮
- 年賀状や暑中見舞いなど時候の挨拶
- 病気見舞い
- 葬式の花輪や供花
- 本人が出席しない場合の結婚祝や香典
- 初盆のお供えやご仏前

市民の皆様のご理解をよろしく願いたします。

市議会 ホームページ



議会広報編集特別委員会

委員長 加藤 幸雄 副委員長 首藤 善友

委員 田中 真理子 淵野 けさ子
加藤 裕三 田中 廣幸
坂本 光広 佐藤 孝昭
志賀 輝和